

市政運営について

松本 敏夫議員

・質問 市制が施行されてから半世紀、当市を取り巻く環境も大きく変わり、市政についても大変厳しい状況にあることは周知のとおりである。

昨年六月、河田新市長が誕生し、今年度を乗り越えつつ、目下、新年度予算編成に取り組んでいることと思う。

今後市民に対する説明責任を果たしながら、市民の立場に立った市政運営に取り組むべきと考えるが、新市長の新年度へ向けた基本的な方針を伺いたい。

また、平成十九年度当初予算の重点施策についてもあわせて伺う。

・答弁(市長・総務部長)

就任時申し上げた私の市政運営方針は、平成十九年度が、実質的な第一歩と考えている。

私の行政運営は、市民参加であり、政策立案過程への市民参加、行政評価制度の構築、そして地域力の向上を三本の柱とする。市政は、即ち市民のための政策であり、現在の課題のみならず、将来の市民もその福利を享受できるものでなくてはならない。

市民の皆さんも本市の財政状況に一定の理解をされてきたものと思う。今後は、政策立案への市民参加を図ってきたいと考えている。

次に、新年度予算編成の重点施策については、まず特別職の給料等のカットの継続、一般職員の給与構造改革の実施、民間委託や事務事業の見直し等の行財政改革に引き続き取り組む。

第二に、岩瀬土地区画整理事業について、現在の中央工区を見直し後の施工区域とするべく、今後も地域住民の方と話し合いをしていく。

第三に、道の駅整備事業として、現在国で建設中の水防センターの建物費用の一部負担を行い、飲食施設や物販施設などの、いわゆる地域振興施設を建設する。管理運営は指定管理者制度を利用し、本年夏には開業する予定である。

さらに、羽生市全体の活性化に大きく貢献することが期待される、イオンショッピングセンター出店への取り組みとして、周辺道路整備事業を重点的に推進していきたい。

羽生駅トイレの整備と都市公園トイレの水酸化促進について

蜂須 直巳議員

・質問 羽生駅が橋上化され、西口広場、大型スーパー、ホテル、飲食店等もでき、市民からも評価されている。

しかし、駅近辺に公衆トイレがなく不便をきたしている。環境面から必要不可欠と考えるがいかがか。

また、平成十四年以降、都

市公園で、トイレが水洗化されていない場所が、四ヶ所ある。以前、計画的に順次水洗化していくとのことであったが、財政が厳しいとはいえ、工夫をしながら進めていくべきではないだろうか。

・答弁(都市整備部長)

現在、羽生駅近辺には公衆

トイレがなく、東武及び秩父鉄道の理解を得て、駅構内のトイレを使用させていただいている状況である。

現在、平成十九年度予算編成中であり、トイレの新設については、予算査定の中で判断、調整させていただきたいと考えている。

なお、設置の場所については、駅前交番の北側の土地を検討している。

次に、都市公園トイレについては、平成十四年度まで順次水洗化が図られてきた。



羽生駅前東口ロータリー

現在、トイレが水洗化されていない公園は、栃木西公園を含め、四ヶ所ある。

これらの公園トイレの水酸化は、市全体の財政健全化のために行財政改革を最優先で進めようとする中、やむを得ず延期せざるを得なかったものである。これについても、新年度予算編成の中で調整していきたい。

その他の質問

・資源ごみ回収品目の拡大について

・小動物の火葬場建設について